

令和2年度事業報告書

I. 事業の状況

1. 放送文化に関する創作活動を行う個人または団体に対する顕彰（1号事業／15,508千円）

(1) 放送文化に関する創作活動を行う個人または団体に対する顕彰については、以下の10件の個人・団体（番組）に対して「第29回橋田賞」として顕彰することとし、正賞として時計、副賞として賞金各1,000千円の助成を実施した。

橋田賞	連続テレビ小説「エール」(NHK)	(1,000千円)
橋田賞	「あしたの家族」(TBS)	(1,000千円)
橋田賞	「ポツンと一軒家」(朝日放送)	(1,000千円)
橋田賞	池端 俊策 (脚本家)	(1,000千円)
橋田賞	長谷川 博己 (俳優)	(1,000千円)
橋田賞	二階堂 ふみ (俳優)	(1,000千円)
橋田賞	松原 耕二 (キャスター)	(1,000千円)
橋田賞新人賞	賀来 賢人 (俳優)	(1,000千円)
橋田賞新人賞	上白石 萌音 (俳優)	(1,000千円)
橋田賞特別賞	坂本 冬美 (歌手)	(1,000千円)

2. 脚本家、演出家、俳優等の人材育成（2号事業／8,865千円）

脚本家、演出家、俳優等の人材育成については、本年度は以下のような事業を実施した。

(1) 令和2年度橋田賞新人脚本賞の公募

応募総数279篇で、日本脚本家連盟の一次審査の後、財団選考委員による審査の結果、佳作の2篇を選出し、正賞として時計、副賞として賞金各200千円の助成を実施した。

佳作	藤田 知多佳	「ハゼと私とホタテと」	(200千円)
佳作	山脇 さやか	「スマイルの道標」	(200千円)

(2) 新人脚本賞作品集の出版

「令和元年度橋田賞新人脚本賞作品集」を出版し、NHKおよび民放等190社に配布した。

3. 放送文化に関するシンポジウム、講演会の開催（3号事業／0千円）

放送文化に関するシンポジウム、講演会の開催については、本年度は以下のような事業を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し開催を見送った。

(1) 「シナリオセミナー」を主催

(2) 講演活動の実施

4. 顕彰対象作品の上映会の開催（4号事業／0千円）

顕彰対象作品の上映会の開催については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し開催を見送った